

# 事業報告書

令和3年度

【令和3年4月1日から令和4年3月31日まで】

学校法人 常磐会学園

## 1. 法人の概要

- ① 名称 : 学校法人常磐会学園  
 ② 住所等 : 大阪府大阪市平野区平野南4-6-7  
 電話番号 : 06-6709-3170  
 ファックス : 06-6709-2201  
 ホームページ : <http://www.tokiwakai.ac.jp/intro/group.html>

### ③ 設置する幼稚園名

- 幼稚園の名称 : 認定こども園 常磐会短期大学附属常磐会幼稚園  
 : 幼保連携型認定こども園 常磐会短期大学附属いずみがおか幼稚園  
 : 常磐会短期大学附属茨木高美幼稚園

認定こども園を構成する施設	名 称	認定こども園 常磐会短期大学附属 いずみがおか幼稚園	種別 学校法人 幼保連携型認定こども園
			認可等年月日 昭和47年4月1日
	所在地	堺市南区三原台3丁3番1号	認可等定員 215名 1号認定子ども 55名 2号認定子ども 100名 3号認定子ども 60名
			園長名(就任年月日) 高田 昌代(2019年4月1日)

- 電話番号 : 072-291-0393  
 ファックス : 072-291-4093  
 ホームページ : <http://www.tokiwakai.ac.jp/izumigaoka/>  
 メールアドレス : [izumigaoka-youchien@siren.ocn.ne.jp](mailto:izumigaoka-youchien@siren.ocn.ne.jp)

- ④ 理事長氏名 : おかもと かずえ  
岡本 和恵

※理事11人、監事2人、評議員20人

- ・ 定例理事会 年11回開催(毎月開催、但し8月を除く)
- ・ 定例評議員会 年4回開催(5月・11月・2月・3月)

## ⑤ 全職員の配置

認定こども園  
園長（1名）

教頭（1名）  
主幹保育教諭（2名）  
指導保育教諭（1名）  
保育教諭（12名） 兼任保育教諭（23名）  
専任看護師（1名）  
専任職員（管理栄養士・事務）（2名）  
兼任職員（事務・用務）（2名）  
兼任職員（障がい児補助・預かり保育）（13名）

内科医（1名）  
歯科医（1名）  
耳鼻科医（1名）  
学校薬剤師（1名）  
学校産業医（1名）

調理担当  
栄養士（2名）  
調理師（2名）  
調理補助（4名）  
【自園調理】

## 2. 事業報告（令和3年度いずみがおか幼稚園）

**教育目標** 「温かく安らぐ生活の中で、豊かな感性、好奇心、思考力の基礎を培う」

- ・健康な生活の仕方を身につけ、自分のことを自分でしようとする子ども
- ・自分を大切に、友達も大切にする子ども
- ・ちがいを受け入れ共に育ちあう子ども
- ・よく見、よく聞き、よく考える子ども
- ・心を動かし、やってみようとする子ども
- ・感じたことを豊かに表現し、自分らしくのびのび生活する子ども

### 重点課題

- ①創立 50 周年記念誌を作成する際、当時の記録や資料、写真等に触れる中で「恵まれた自然の中で四季を感じる生活や活動」「親子のふれ合い」「一人一人のよさ」「一人一人が活かされる保育の工夫」を大切にしてきたことを改めて感じた。温故知新で先人に習い現代に求められる教育・保育を考えていく良い機会となった。
- ②幼保連携型認定こども園として、園児の生活時間・生活様式を考慮した個別配慮をすると共に、保護者の意向や悩み不安に対する個別の支援も行い「こどもがまんなか」で安心して過ごせるようにしてきた。
- ③教職員間で話をする機会を大切にできたことで報告・連絡がスムーズになり共通理解しながら保育や初期対応、保護者対応にあたれた。「支え合う」チーム力、「絆」が深まった。

### 研究テーマ

『これまでのいずみがおかとこれからのいずみがおか  
～昭和・平成・令和 その後もずっとつながる「こどもがまんなか」の教育・保育～』

- (1) 幼保連携型認定こども園としての教育・保育の創造
  - ① 子どもの背景（家庭環境や保護者の生活形態と子どもの生活時間）や課題を教職員間で共通理解し、子どもに接する。園での個別へのかかわり方を保護者に知らせ、子育てに対する意欲や自信が高まるようにした。
  - ② 保護者に対する個別の支援は、地域における関係機関等と積極的に連携をとり保護者と子どもの関係を援助、修了後も安心して自分らしく生きていけるよう支援がつながるようにしてきた。
  - ③ 緊急事態宣言明けより、いちご組（未就園児）を開始し「集える場」「遊べる場」として保育室や

園庭を開放した。同年代の子どもをもつ保護者の、コロナ禍での不安や悩み等についてそれぞれ情報交換する良い機会となった。

(2) 園児の生活の充実と安全確保

- ① いろいろな人に、あるがままの姿を受け止められたことで、安心して過ごし「自分の気持ちを大切に」する中で、「自分以外の人の気持ち」にも気づき共に生活する姿につながった。
- ② 園内の畑で野菜栽培、園庭の実りの収穫といった自然との関わりや収穫したものから、その生長や食に関しての興味、数への関心を広げていった。
- ③ ポートフォリオや学年だより、ホームページの中で子どもの姿や子どもつぶやきを紹介した。子どもの「見え方」「感じ方」「表現の仕方」を感じ、子どもらしさ、子どもなりに考えていることに気づいてもらえる良い機会となった。
- ④ 日々の終礼で子どもの体調や怪我、ヒヤリ・ハットの報告を行い、事故を未然に防げるよう意識化した。誤食・誤飲予防として給食メニューや調理方法を見直し、怪我防止として園内遊具・環境の点検を業者にも依頼し安全管理を行った。
- ⑤ 子ども達が考えた「幼稚園の50歳の誕生会」を準備し楽しむことが出来た。歴代園長先生方にも参加して頂きいずみがおか幼稚園の歴史を知れた貴重な1日となった。
- ⑧ 園内教育・保育研究をビデオ記録にて行う。それぞれのクラスの現状や担任の思い、クラスの課題について理解した上で、良かったところや課題に対するフィードバックを行い教育・保育のヒントが得られる場、教育・保育に自信をもち新たな気持ちで子どもと向き合える気持ちになる場となった。記録をまとめ研究誌「あしあとXXV」を刊行。

**園児数（認可定員 215 名）**

令和3年5月1日現在

歳児	認可定員	認可定員内訳		1号認定 実員	2号認定 実員	3号認定 実員	歳児別 実員合計	組数	実員合計
0歳児	60	11		/	/	50	6	1	193
1歳児		19					19	1・2歳児混合 3	
2歳児		30					25		
満3歳児	155	1号定員	2号定員	1	/	1	1	193	
3歳児		55	155	20		24	44		3
4歳児				14		32	46		2
5歳児				23		29	52		2
合計	215	215		58	85	50	193	12	193

**園児確保のためのPR方法**

- ① 堺市の認定こども園のページから本園にリンクするようにし、情報公開を行った。
- ② 地域交流では、コロナ対策として地域文化展がInstagramで開催されていたので作品の写真を載せた。
- ③ 新型コロナウイルス感染防止策を講じながら、出来る限りの子育て支援を行ったことで本園への安心感・信頼を高めることができた。

〔 一時預かり事業（一般型と幼稚園型）、子育て相談（キダーカウンセラー事業）、乳児家庭全戸訪問事業（電話での聞き取り・訪問）、満3歳児入園など 〕

## 入園の方法

- ・ 1号認定：コンセプトブックや入園説明会を通し、園の教育方針や理念を理解したうえで願書を提出してもらい幼児観察と親子面接を実施した。
- ・ 2・3号認定：区役所で決定後、幼児観察と親子面接を実施した。

## 施設・設備の充実

### (1) 教育研究用機器備品

安田式総合遊具ジャングラミングを設置（創立 50 周年記念品）衝撃吸収人工芝を施工  
好奇心が刺激され、多様な動線で積極的に遊具にかかわり遊ぶ子どもの姿が見られた。

## 保育料

※基本負担金・教材費・給食費は 8 月も含む。

対象児	施設整備 教育充実費	入園受入準備費	基本負担金	教材費	給食費
1号認定こども	50,000 円	3,000 円	保育料無償	毎月 2,050 円	毎月 3,200 円
2号認定こども					毎月 4,900 円
3号認定こども	0 円	0 円	所得に応じる	【0 歳児】 おむつ代実費 毎月 2,050 円 【1・2 歳児】 毎月 2,550 円	0 円 基本負担金に含まれる

## その他

- (1) 園関係者の新型コロナウイルス感染が確認され、学級閉鎖や学年閉鎖となる期間もあった。その間、閉鎖該当クラスであっても保護者が就労の為、休むことができなかった 2 号認定こども・3 号認定こどもを別室で受入れ、就労家庭の支援を行った。
- (2) 新型コロナウイルス感染者数の動向に合わせ感染予防策を講じた上で行事や教育活動での制限を緩和した。多様な人とのかかわりや体験が出来た。  
(保護者参加人数の見直し・園外保育実施・外部講師を迎えお話の会や小学校就学前の出前授業等)
- (3) 新型コロナウイルス感染者が減少したことから、在園児限定で土曜日園庭解放を再開、未就園児クラス、課外授業の小学生の立ち入りの再開を行った。
- (4) ホームページ保護者サイトに写真や動画を多く取り入れ、減少した保育参加や参観に対する不安への軽減となった。また、本園の教育理念をいろいろな人に知ってもらう良い機会となったことで期中入園児の増加にもつながった。
- (5) 令和 3 年度からの定員人数が変更となった。  
1 号認定子ども 55 名 2 号認定子ども 100 名 3 号認定子ども 60 名 合計 215 名とし、ひとり一人の姿に応じた丁寧なかかわりをより意識した保育に力を入れられた。（インクルーシブ保育）
- (6) 絵本作家さいとう のぶ氏の紙芝居「ネルコハソダツ ネルコハソダツ・・・」の作成にかかわった。  
このことより、紙芝居に「協力・学校法人常磐会学園 幼保連携型認定こども園常磐会短期大学付属いずみがおか幼稚園」と記し発行されることとなった。
- (7) 幼稚園事務部門の立ち上げに向け、事務の効率を図ることを目指している。